

## 平成 30 年度京都府立特別支援学校

# 「『各教科等を合わせた指導』実践研究推進」授業研究会が 本校で実施されました。（6月28日）

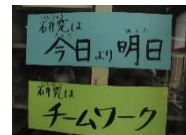
京都府立特別支援学校 11 校では、平成 25 年度から「各教科等を合わせた指導」の有効性を活かした授業づくりと実践交流・研究協議をととして、各校の授業改善を進めることを目的として、授業研究会を行ってきました。

今年度本校では、中学部 8 組の生活単元学習「料理を科学する研究所」の授業において実践報告・研究協議をしました。この授業では、生徒達が研究員となり、「究極の美味しいピザ」を目指してピザを作る工程の中で、様々な条件を変え、比較しながら研究を進めていきました。

生活単元学習とは、生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものです。「各教科等を合わせた指導」の一つでこの単元では、国語、社会、数学、理科、職業・家庭の各教科の目標と内容、総合的な学習の時間の領域の目標と内容を学習しています。



授業研究会では、「生徒達の実際の生活から発展し、授業をととして様々な『つながり』（生徒同士、保護者、地域社会等）が感じられた。」「1ヶ月を越える長い期間の中で条件を変えながらも繰り返し学ぶなかで、生徒達が『今もっている力』を十分に発揮している。」と感想を頂きました。



今回の授業研究会の成果を本校の今後の授業改善にも活かしていきたい考えています。